

令和元年度 南区地域福祉アクションプラン
地区別計画 進行管理表

- ① 新飯田地区…P1
- ② 茨曾根地区…P2
- ③ 庄瀬地区……P3
- ④ 小林地区……P4
- ⑤ 臼井地区……P5
- ⑥ 大郷地区……P6
- ⑦ 鷲巻地区……P7
- ⑧ 根岸地区……P8
- ⑨ 大通地区……P9
- ⑩ 白根地区……P10
- ⑪ 味方地区……P11
- ⑫ 月潟地区……P12

笑顔いっぱい「おたがい様らて」と心が通いあう新飯田

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組みに内容等共有されていますか)	△
引継ぎをきちんとしよう (役員の交代等、計画について引継ぎがされていますか)	△
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	△

*それぞれの項目ごとにチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標に対する評価	評価
期待される取組みの90%以上達成	A
期待される取組みの75%以上達成	B
期待される取組みの50%以上達成	C
期待される取組みに50%未満	D

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組み 期待される取組み
----------------------	-----------------------

1. 誰にとっても安心して安全に暮らせる地域づくり
(安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮せるまち・高齢者が安心して暮せるまち)

○各家庭で災害時の避難について話し合うようにする	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会による避難訓練の実施 ・避難所の耐震性の見直し → 耐震性は確認済 ・自治会単位での話し合い ・避難所が手狭なため、障がい者や高齢者にとっても安全な避難所の設置場所についての検討 ・もっと避難所が必要。水害の時は2階へ避難する。民間のビルを借りるようになる(南部でそのような動きがあるところがある) ・道の駅をつくって、避難所にしようと検討し、行政に交渉したが、話は進んでいない。
○誰にとっても安全に避難できるよう、避難所の安全について検討を続ける	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接市(三条・燕・加茂)との協力体制の構築 ・各自治会が要支援者の名簿をもとに人数や状況を収集する訓練を実施 ・避難体制づくりの明確化 ・自治会班長による見守りなどの訓練、細かい話し合い、障がい者や高齢者を対象としたアンケートの実施
○地域ぐるみで防犯に取組む(子どもの安全・見守りも含めて)	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全協会による登下校時の街頭指導(春・秋) ・自治協議会長、青少協による防犯パトロール ・一人暮らしや高齢者世帯のゴミ出しや見守り ・認知症の方々をあたたく見守れる地域づくり ・児童の登下校時の見守り等を行う ・回覧板や配布物は声をかけるようにする
○防犯面からの環境整備を図るための検討を続ける	<ul style="list-style-type: none"> ・公園維持管理協議会による公園の整備、トイレの清掃活動(月1回) ・防犯の広報に、防災無線を有効活用できるよう働きかける

2. 一人ひとりが違うことを分かりあおう
(私たちが支え合い、助けあうまち)

○世代・立場の異なる人同士が一緒に学ぶ・遊ぶ機会として、勉強会・ワークショップ・講演会等を企画する	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング、コンサート、カーリング教室、文化講演会、元気アップ講座、小学校地区合同運動会、ソフトボール大会、カレンダー作り、読み聞かせ、キャンドルづくり、ふるさとキャンプ、ハロウィンイベント等々 ・保健会による健康づくり後援会、ふれあい茶の間 敬老会、新飯田まつり、乳幼児をもつママたち交流、
○地域の人が集まる場をつくり、お互いを知る機会を増やす	<ul style="list-style-type: none"> ・各種サークル活動や行事の一覧表を作成し、PRを行う ・誰もが気軽に集まれる場が必要 ・市日では、肉屋さんなど店先に椅子があり、集まる場所がある ・空き家の活用 ・地域の茶の間は、地域生活センターとシルバー乙女、天狗の会 ・地域の行事に男性の参加が少ないため、働きかけが必要

3. みんなの「力」が発揮できる地域にしよう
(私たちが支えあい、助けあうまち)

○高齢者の知恵を、子どもたちへ伝承する	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統芸能伝承の会(芸能教室) ・世代間交流で、昔遊びや笹団子づくり等をとおして高齢者の知恵を教える
○地域の人々の「経験・力」を生かせるよう工夫する	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもみこし、天神様、地藏様などの祭り ・農業体験、みそづくり体験など ・世代間交流の場が引き続きあると良い ・低学年と高学年など、対象別に交流できると良い ・継続出来るよう、スタッフやボランティアの発掘・育成が必要

27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	取組み内容
B	B	B	B	B		<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の前後に各集会所で自治会単位で話し合いを行った。いくつかの自治会では障がい者や高齢者の避難誘導、避難経路等についても話し合いが行われた。 ・障がい者は新飯田の里で受入可 ・障がい者や高齢者について自治会内で検討はされたが、地区の中で検討内容等の情報共有はない。 ・要支援者名簿に載っている方へ、要望調査し対応検討。
D	D	B	B	A		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者へのアンケート調査の実施 ・高齢者だけの世帯や、高齢者と同居する世帯にもアンケート調査を実施した。
B	B	A	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ出しや見守りは地域で行われている。 ・認知症の方々についても見守りが行われている。 ・地域の住民による児童の登下校の見守りは行われている。 ・回覧板の声かけは行われている。
A	A	A	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・清掃は定期的に行われている。 ・確認したところ、防災無線を防犯に活用は出来ない。

27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	取組み内容
A	A	A	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブは解散したが、各種活動はさかんに行われ、ママさんの集まりや子供達の集まりもある ・行事に大勢の方が参加し世代間交流が出来ている。 ・地区カレンダーに行事等を記載している。 ・地域の茶の間は増えて3か所になった。 ・空き家の活用で、市日の茶の間開催や出向いた人のトイレ利用、熱中症予防の水分補給の場、子供のイベント等に利用されている。 ・行事にお酒を提供すれば男性も参加するのでは。

27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	取組み内容
A	A	A	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・教育コーディネータによる活動が活発 ・街中では、犬の散歩を兼ねて児童の見守りが行われている。 ・ボランティアグループによる世代間交流がある。 ・6年生が新飯田カルタを作製し配布した。 ・下地域のセーフティスタッフが不足している。

笑顔がつどう 明るい茨曾根

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組み内容等共有されていますか)	○
引継ぎをきちんとしよう (役員の交代等、計画について引継ぎがされていますか)	○
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	○

*それぞれの項目ごとでチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標に対する評価	評価
期待される取組みの90%以上達成	A
期待される取組みの75%以上達成	B
期待される取組みの50%以上達成	C
期待される取組みに50%未満	D

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組み 期待される取組み
1. 高齢者の楽しい地域づくり (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮らせるまち・高齢者が安心して暮らせるまち)	
○老人クラブの活動を充実させる、老人クラブを増やす	<ul style="list-style-type: none"> 清水・上茨～皆老会、道湯・新村～老人会、下茨～五九朗会 畑づくり、神社清掃、日帰り旅行、収穫祭等、活発に活動 クラブが出来ていない地区への取り組み 庚は取組みなし、丸湯は班会、東萱場は茶の間 リーダーの育成、役員体制の検討 老人クラブ活動の充実、活性化 仲間づくりから発展させる 老人クラブに限らず、サロンやグループなどの自主的な会の活用
○地域の茶の間をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 清水、上茨、丸湯、東萱場、道湯、新村では順調に開催 庚地域では「中途半端会」開催 下茨地域での新規開催 お茶の間だよりの発行 茶の間の取組みを皆に周知しつつ次回開催日を案内 他のお茶の間との情報交換 お茶の間で活用できる資源の仲介役が必要
○閉じこもっている人を誘い出す	<ul style="list-style-type: none"> 地域での声かけ、訪問事業 高齢者や身体的に不自由な方への対応検討
2. 子どもたちの安全な地域づくり～セーフティスタッフ活動に取組もう～ (安心して子育てできるまち)	
○下校時に合わせて大人が気を配る	<ul style="list-style-type: none"> 地区の皆さんが気にかけるようになった 子どもたちが挨拶をする。中高生になっても挨拶する習慣 ながら活動が定着した 各地域から2名ずつ交通安全委員を選出した 下校時の見守りに防災無線の有効活用についての働きかけ(できないと行政より回答) 防災無線は、地域生活センター、東萱場、清水の3か所(丸湯にはない)。地区ごとにプログラミングができるが、要望が挙がってから対応を検討する
○セーフティスタッフ活動に取組む	<ul style="list-style-type: none"> 地域では6名のセーフティスタッフが誕生し、オレンジのジャンパーで活動中 セーフティスタッフの活動に、交通安全協会が協力している 白南中では環境安全委員長が、また茨曾根小学校はPTA3役がセーフティスタッフとして活動している 地区の危険ヶ所の把握(マップの作成) 全自治会での活動の周知とスタッフの募集を行う 学校と地域のセーフティスタッフの交流、及び連携が必要 地区の危険ヶ所(通学路)の見直し(マップの作成等)
○子どもにも、地区の取り組みを伝える	<ul style="list-style-type: none"> 学校の朝会で顔見せを行い、子どもたちに活動を伝えることができた 顔の見える関係をつくる(多世代交流や茨曾根応援団の活用など) 誰もが集まれる大きな集まり(イベント)を行う 27年度に児童館がオープン～高齢者もいっしょに「参加型イベント」の実施

27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	取組み内容
C	C	B	B	A		<ul style="list-style-type: none"> 自治会が老人クラブの活動を大事にしている。(道湯) 夏祭りの合間に、茶の間の参加者と子供たちが輪投げや射的等で交流をしている。(清水) 閉じこもりの人が出てこない事実もあるが、参加者は生きがいをもって参加してくれている。(下茨) 活動への参加者は減っているが、定期的に開催しながら一定以上の人数を得てがんばっている。 参加者が減っている。 年々高齢化。若い人が入らないため、事務に苦労している。
B	B	B	B	A		<ul style="list-style-type: none"> 月1回の茶の間を楽しみにしている人もいる。 上茨は昨年できた。無理のないようにやってみようと思いを合っている。 日帰り温泉は喜ばれた。 男性が集まらない。 行事の内容によっては、参加者が増えるので、工夫が必要。 高齢化により人数が減っている。(80代)もう一つの70代の集まりと一緒にできないかと思ったが難しい。年1回でもみんなで集まる機会を作っていきたい。 下茨は男性が多い。老人クラブが育てた野菜で収穫祭をしている。調理等も積極的に行い、老人クラブ以外の人も増えている。 茶の間の活動は大事なので、支え続けることが大事。 アクションプランは自助努力も大事だが、要望も大事。
A	A	A	A	A		<ul style="list-style-type: none"> 月1回、一人暮らし世帯を自治会長が訪問している。(庚) 地区社協で、自治会長と配食訪問をしている。 アンテナを張り、声かけをするようにしている。
27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	取組み内容
A	A	A	A	A		<ul style="list-style-type: none"> 見守り隊を続けていきたい。 農作業の人も作業しながら見守ってくれている。 西区で事件があった後は、通学路の見直しや関係機関で協力をして見守りを行った。 ながら見守りをしている。仕事に行く途中や犬の散歩等地域の人が気にかけてくれている。
A	A	A	B	B		<ul style="list-style-type: none"> 白南中PTAの環境安全委員会で毎年見守り実施と関係機関との会議に出席している。 交通安全協会が年2回小学校の見守りをしている。 子供たちは、大きな声で声をかけてくれる。すくすくと育っていると感じる。 「子供110番」シールを貼っている。これも大切な見守り。
A	A	A	A	A		<ul style="list-style-type: none"> 茨曾根応援団の活用が多くされている。(どんど焼き、祭り等で子供たちと交流) 樽太鼓は練習だけでなく、楽しみも入れながら継続できるようにやってきた。無理をしない形でやってきてよかった。 柿の収穫、芝刈り等取り組みを通して伝えている。 子供が減っているので、何か取り組んでいきたい気持ちはある。 保健会も健康セミナー等一生懸命している。 子供たちから声をかけたり、学校の学習では積極的に質問したり、交流したりしている。地域全体で交流していると言える。

声かけ会 話しあう 助け合う 沢山の合(愛)がある 庄瀬

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組みに内容等共有されていますか)	△
引継ぎをきちんとしよう (役員の交代等、計画について引継ぎがされていますか)	△
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	△

*それぞれの項目ごとでチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標に対する評価	評価
期待される取組みの90%以上達成	A
期待される取組みの75%以上達成	B
期待される取組みの50%以上達成	C
期待される取組みに50%未満	D

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組み 期待される取組み
----------------------	-----------------------

1. みんなの居場所づくり～誰もがいつでも気軽に集える場を～ (安心して子育てできるまち・障がいのあるひともない人も安心して暮らせるまち・高齢者が安心して暮らせるまち)	
○歩いて来られる場所に集いの場 (地域の茶の間)をつくるようにする	<ul style="list-style-type: none"> ・菱潟、次郎右E門興野、新道島クラブ、親友会、しなのがわ工房ままや、じじ会など ・真木や上八枚など定期的な集まりがある。、ゆうわ会(青年会) ・集落で集まろうにも地形的に細長く、集まるのが難しい面がある ・自治会単位での話し合い ・子育て中の親世代の集まる場 ・空き家を改修し、お茶の間にする ・避難所が手狭なため、障がい者や高齢者にとっても安全な避難所の設置場所についての検討
○男性・女性・障がい者・高齢者・子ども・・・の交流の機会をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会、子ども会中心のお楽しみ会 ・夏祭り(子ども神輿)、音楽会(お寺コンサート)、ママさんバレー、野球リーグ戦(年3回)、卓球、カーリング ・若者世代が中心となって、地域に声掛け ・地域生活センターロビーを活用した交流の場(誰でも利用できる居場所づくり)
○忙しい地域からも参加できる工夫を検討する	<ul style="list-style-type: none"> ・春まつりやライトアップや写真コンテスト(小学校文化祭にて開催。庄瀬の良いところの写真をカレンダーとして作成) ・庄瀬農村公園祭り→庄瀬まつり、スポーツ大会、花火大会等の総合プログラム ・整地をして桜をもっと植え、盛り上げたい
○閉じこもってしまう方々を既存の事業(見守り事業、安否確認等)に誘う、声かけ、情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・健生病院班会、老人会(2班)の活動 ・高齢者同士が声掛け(見守り、安否確認等) ・近所のお年寄りが茶飲みをやっている。ゴミ出しを協力してくれる人がいる。 ・庄瀬市(1・6)寄り合い場所(八百屋2軒)送迎や配達をしてくれる(駐在さんも来る) ・孤立している人はいないが、拒否をする人がいる。 ・新しいカタチの老人会の構想(将棋の会・ピンポンの会) ・老人会の名称がネック。
○集まる場を増やして、情報交換及びボランティア活動の場とする	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会で高齢者の集まり ・農村公園祭り、春まつり、サザンフラワーロード作戦による球根・花植え ・長寿を祝う会、芸能祭、防災訓練 ・グリーン作戦、空き缶ひろい ・イベントなど様々な企画でやっているがまだまだ改善点はある ・声かけ、安否確認などのボランティアを増やす ・地域交流や世代交流の場の拡充

27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	取組み内容
D	D	C	B	B		<ul style="list-style-type: none"> ・病院の班会活動の集まり(真木、沖新保、十二道島、上八枚) ・菱一の茶の間、友和の里(月1回)ままや(週一回) ・地域センターにて地域の茶の間「もくば」を開催(月1回) ・「もくば」の広報誌を毎月作成し、地域内に配布 ・「もくば」に子育て世代の親が集まって活動している ・地域センターにて放課後児童クラブ「しょうぜっ子」を開設 ・お茶の間の開設は自治会単位で引き続き検討
C	C	A	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・3地区合同の子ども神輿 ・若い世代が年3回野球大会を開催(庄瀬以外からも参加) ・その他卓球、カーリング、カラオケ大会、夏祭り ・地域生活センターで月1回の若者の集会 ・新飯田・茨曾根地域と合同でバレーボール大会を実施 ・誰でも気軽に集える場所「もくば」に図書を充実させ、来館者増
A	A	A	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・植樹した桜の管理・手入れ ・クリスマス時期、年末年始にイルミネーションを実施(商工会)
B	B	A	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・近所同士の集まりがある。(個人宅) ・市日の露天に集まれる場所ができる。 ・地域生活センターの情報誌「もくば通信」を月1回発行(全戸配布) ・歴史を探る会結成(長井家)
B	B	B	B	B		<ul style="list-style-type: none"> ・庄瀬の行事の一環として行っている。 ・児童生徒とのあいさつ運動、セーフティスタッフ活動 ・ボランティア団体や活動が少ない。行事は役員が主に行っている ・何かやりたいという気持ちのある人と、やってほしい人とを繋ぐ

2. 一人ひとりが違うことを分かりあおう (私たちが支えあい、助けあうまち)	
○子どもたちの下校時の安全を地域で守る	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時の声かけ見守りの実施 ・小学校であいさつ運動実施 ・民生委員による運動 ・セーフティスタッフの確保と拡充 ・下校時間帯の見守り体制
○災害時の支援体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織 ・高齢者同士が声かけあえる地域 ・隣近所で見守りができる体制 ・日中、残っている人で支え合える体制づくり ・災害時、安否確認ができる体制づくり

27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	取組み内容
B	B	B	B	B		<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時の声掛け等(挨拶運動)は行っているが、体系化されていない部分がある ・登下校時間に、車によるパトロール活動 ・犬の散歩、花の水やり等を行いながらの見守り活動
A	A	A	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・体制整備も含め防災への取り組みはできているが、避難所は自治会単位で検討が必要 ・地形的に細長いため、自治会単位での防災訓練を提案 ・自治会ブロック(5か所)へのAEDの設置

- ・地域の特徴として細長い集落で、高齢者には集まる場所が距離的に無理がある。
- ・老人クラブ2つしかない。庄瀬本村にない。庄瀬本村に作るとうとするが、うまくいかない。
- ・自治会と民生委員との協力体制を考える必要がある。

声かけ合い 心をつなぐ 小林地区

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組んだ内容等共有されていますか)	○
引継ぎをきちんとしよう (役員の交代等、計画について引継ぎがされていますか)	△
住民にきちんと伝える機会をつくらう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	○

*それぞれの項目ごとにチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標に対する評価	評価
期待される取組みの90%以上達成	A
期待される取組みの75%以上達成	B
期待される取組みの50%以上達成	C
期待される取組みに50%未満	D

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組み 期待される取組み
1. 高齢者・障がい者・子どもがつながりを感じられる交流の機会を充実させる (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮らせるまち・高齢者が安心して暮らせるまち)	
○自治会での目的や年齢にこだわらない定期的な集まりを開催する	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会、防災会、子ども見守り隊、防犯パトロール、地域の茶の間 男性が集まりに出てこないで、目玉を考える (リハビリ、マッサージ、軽い運動、女性が誘う等) 趣味のサークルなどで交流の輪を広げる(介護予防になる)
○高齢者に限定したお茶の間だけでなく、若い世代を含めて集まれる場を実施する	<ul style="list-style-type: none"> 地域の茶の間、ふれあい昼食会、敬老会 世代間+障がい者も交えた交流事業 (地域の中で障がいに対する理解を得、顔の見える関係づくりを構築す 施設と地域の交流事業 小学校の父母たちはにバリアフリーの認識が深まっているが、地域全体ではまだ深まっていない 男性の茶の間をつくる
○単発でなくその後の繋がりを感ぜられる活動をする	<ul style="list-style-type: none"> 地域の茶の間、ふれあい昼食会、歳末訪問活動等声掛け 老人クラブのボランティア活動 ウォーキング等、自然に参加できる健康づくり 近所の見守りや声掛けが必要 認知症になった時に近所に伝え、協力を得ることができるようになる 曜日を決めて、乗り合わせによる買物支援(有償ボランティアの育成が必 公民館事業で人材育成ができないか) 老人クラブの会員を増やす
○祭りのようなイベントを検討する	<ul style="list-style-type: none"> 春秋の祭礼、運動会、卓球大会、カーリング大会、文化祭、敬老会、ひなコンサート ひなまつりコンサートは定着、祭礼は、日曜日の開催へ(神社に相談)コンサート 継続した活動へ
2. 地区の皆が地域活動情報を知る (私たちが支えあい、助けあうまち)	
○チラシを配布するだけでなく声をかけ、直接一生懸命誘う！！	<ul style="list-style-type: none"> 年3回の声掛け訪問 話しやすい雰囲気をつくる(配布物の際にひと声かける) 防犯パトロールは、年1回(どこまで徹底されているかは不明)
○地区の各団体の役員になることで地区活動を知ることができるため、役員を増やすことを検討する	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ協議会の部会、専門班の組織化 検討会の継続
○地区住民も積極的に情報を得る努力をする	<ul style="list-style-type: none"> 自治会長協議会・コミュニティ協議会との連携活動 コミ協だよりの発行回数を増やし、写真など見やすくした 地域の関係団体と災害時の検討を重ねた 回覧や案内チラシを渡す際に、ひと声かける
3. 子育てを地域住民で支援しよう (私たちが支えあい、助けあうまち)	
○地域ぐるみで子育てを支援しよう	<ul style="list-style-type: none"> 小林ひまわりクラブに地域住民が支援する(学童クラブスタッフは熱意が) 登下校時の見守り 子供の通学時に合わせて犬の散歩をする 退職された方々に協力頂き、子供たちの見守り活動に参加してもらう 畑仕事をしている人から声をかけてもらう 小林ひまわりクラブの運営に地域の大人が協力し、生活の基本や社会規範を教える

27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	特記事項
B	B	B	B	A		<ul style="list-style-type: none"> 老人クラブ会員が、60代が多く加入したことで増えた。卓球や輪投げなど実施し、声かけを一生懸命した。 風が強い日など障がい者宅へ大丈夫かと民生委員として声かけをしている。(家族がいるので、頻度は少ないがしている) なじらね訪問(春・夏・秋・冬)をしている。 様々な行事に子供や障がい者も参加してくれる。 昼食会などの行事に障がい者を当たり前のように寄せるところまでは進んでいない。 老人クラブと茶の間は違うものと分かっている。茶の間では、普段聞けないような魅力あるように工夫をしている。来る人は楽しみにしている。常に声をかけている。 地域ごとに小さくとも茶の間が浸透してきている。
B	B	B	B	B		<ul style="list-style-type: none"> ふれあい昼食会や敬老会などには、多くの方が参加している。 生活センターの調理室や会議室のエアコン、ヒーターを来年整備する。これにより調理実習や交流、災害時の備えなどにさらに促進していきたい。 昨年度の懸案事項であるトイレの多目的化については、建物の構造上難しくできない。
A	A	A	A	A		<ul style="list-style-type: none"> 歳末訪問はとても喜ばれている。 ぐるりん号、デマンドタクシーの周知は必要だが、利用は減っている。乗降場所や予約など課題はある。 助け合い活動「お助け小林」スタートための準備をしている(R2.4開始)。協力してくれる人を募集しているが、今後助けてほしい人にどう手をあげてもらおうか考える必要がある。そのためにも課題やルール等決める必要もある。同じスタートとはいかないが、車を使つての買い物支援や食事支援(外食)も考えたい。
A	A	A	A	A		左記の行事はすべて活発に開催している。
27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	特記事項
B	B	A	A	A		<ul style="list-style-type: none"> 一つの活動に参加すると、様々な活動にも誘われ交流がさかんになる。ただし、高齢になると交流を面倒がることもある。 交流が減っても情報は入ってきている。 空き家が増え若い人も引っ越していく。高齢者が主で声かけ。これで地域を支えるのは難しくなっていく。(戸頭)
B	B	A	A	A		<ul style="list-style-type: none"> どの場面でも集まるのはいつも同じメンバー。発想の転換が必要。若い人の参加が得られるようなことも必要。時代の流れで若い人の考えも理解していくことが大切。(組織づくりの工夫が必要) 平潟新田は絶対数が少ない。若い人も少なく、いても働いている。地域ごとにどう取り組むか考えていかなければならない。
B	B	B	A	A		<ul style="list-style-type: none"> 課題はあるが、情報伝達はしっかりしている。 アパートの住民への対応が難しい。アパートには子供もいるので行事等誘いたい名前もわからない。考えていかなければならない課題である。 SNSはチャレンジしたが今年度はできなかった。来年度再度したい。
27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	特記事項
A	A	A	A	A		<ul style="list-style-type: none"> 信濃川、中ノ口川に関する調査活動を小5.6が行った。 昨年度、通学路のマップや地域防災のマップを子供たちが作った。指導した先生も素晴らしいし、地域も点検等協力した。地域、学校が活発に活動をしている。

「やろってば！」笑顔で仲良く臼井地区

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう（地域の関係者で、地域の課題、取り組んだ内容等共有されていますか）	△
引継ぎをきちんとしよう（役員の交代等、計画について引継ぎがされていますか）	△
住民にきちんと伝える機会をつくろう（地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか）	△

*それぞれの項目ごとでチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標に対する評価	評価
期待される取組みの90%以上達成	A
期待される取組みの75%以上達成	B
期待される取組みの50%以上達成	C
期待される取組みに50%未満	D

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組
	期待される取組

1. 交流・仲間づくりができる集まる場がある地区 (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮せるまち・高齢者が安心して暮せるまち)	
○地区の既存組織を大切に育てるとともに連携する	<ul style="list-style-type: none"> ・2カ月に1回のコミ協総務委員会など、複数回での会議、集まり ・定期的なお茶の間の活動（4か所） ・自主防災会による避難訓練の実施 ・臼井桜寿会が地域で集まり茶の間をやっている。（4～5人） ・中学校の同窓会を組織化したい（臼井地区は卒業した中学校が一化していない）
○既存の事業を活発にする (狸の婿入り、敬老会)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の茶の間 ・狸の婿入り（写真コンテスト） ・伝統芸能の棒おどりを中学校の体育祭で披露
○送迎を含めてだれでも参加できる方法を検討する	<ul style="list-style-type: none"> ・交流の拠点として商店街の空き店舗の活用→地域全体の交流イベント ・各団体が協力し合うことでより良いものができる ・既存事業を活発にしながら多世代交流できる新しい事業もつくりたい
○事業者も地区の一員、積極的に交流を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会するとき、送迎している自治会がある ・移動手段についての検討 ・敬老会に大勢参加してもらうための取組み
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流まつり（感謝祭）の開催 ・地域の交流拠点やボランティア活動の推進

27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	取組み内容
B	B	B	B	B		<ul style="list-style-type: none"> ・総務委員会は定期的に開催している。 ・自主防災会による避難訓練を実施している。（臼井中学校または臼井小学校を拠点に実施） ・臼井桜寿会(老人会)は月1回の集まりを継続 ・同窓会の組織化により、役割を持つ会として地域のリーダー育成につながるように、今後も検討していく。 ・定期的なお茶の間は2カ所
A	A	A	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・お茶間助成対象ではないが任意の集まりがある。 ・子供樽きぬたの振興会を進めている。 ・臼井小3年生がポン太のハッピー音頭披露 ・多世代交流（フロアカーリング）の実施。臼井中学生・地域住民が混じってのチーム編成 ・多世代交流(認知症予防講座)の実施。音楽療法士を招き、音楽療法を年2回実施
A	A	A	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会の送迎を一部自治会で実施している。 ・狸の婿入り行列で、伊万里のバスを借用し、送迎を行った。
A	A	A	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・介護事業所での地域交流まつりの開催 参加者は年々増えており、地域との交流が進んでいる。 ・地域のボランティア活動も活発である。

2. ボランティアや地区活動を理解し関心をもてる地区 (私たちが支えあい、助けあいまち)	
---	--

○あいさつ運動を実施する	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動→標語・ポスター募集、優良作品の選定、表彰、のぼり旗など ・あいさつ運動を見守りにつなげていく ・あいさつ運動を地区全体へ広める
○ボランティアや地区活動に積極的に参加する	<ul style="list-style-type: none"> ・食育・生活指導を行っている ・食生活改善推進委員による食育・生活指導 ・福祉施設でのボランティア活動 ・花植え、読み聞かせなどボランティア活動 ・子どもの登下校の見守り
○行事や活動の情報提供とPRを努力する	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事等を含むカレンダーを作成 →活動のわかる写真を掲載して情報を発信
	※回覧板やチラシなどの配布物は声を掛けて情報提供

27年度	28年度	29年度	29年度	R1年度	R2年度	取組み内容
A	A	A	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動の実施(登下校の見守りを兼ねて) ・花いっぱい活動のプランターに水やりしながら。 ・犬の散歩をしながら見守り、あいさつ活動
B	B	A	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・食育、生活指導の実施(食推) 子どもクッキング、地域住民との味噌作り等 ・見守りを兼ねて高齢者へのお弁当配達(食推) ・保育、小、中学校での読み聞かせ活動 延べ100人のボランティアが活動をした。
B	B	A	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事カレンダーを作成し、全戸配布している。 ・地域の推進目標を年度初めの4月コミュ協総会で配布し、情報提供する事で活動の取組に活かした。

なじらね～？と声をかけあう大郷地区

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組んだ内容等共有されていますか)	△
引継ぎをきちんとしよう (役員交代等、計画について引継ぎがされていますか)	○
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	△

*それぞれの項目ごとにチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標に対する評価	評価
期待される取組の90%以上達成	A
期待される取組の75%以上達成	B
期待される取組の50%以上達成	C
期待される取組の50%未満	D

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組み 期待される取組み
1. 支えあいの関係づくり (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮せるまち・高齢者が安心して暮せるまち)	
○隣近所と普段からのコミュニケーションを持つ(あいさつ声掛けをする)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校のあいさつ運動の強化週間の取り組み ・挨拶は基本。大人から積極的に声を掛け、子供の目線で挨拶をする
○昔ながらの声を掛け合う関係を若い世代に継承していく	<ul style="list-style-type: none"> ・大鷲夜まつりで多世代が交流できる →親と子がつながることで、地域もつながる ・しめ縄づくりで世代間交流 ・地域交流イベントなどを実施しながら声を掛け合う関係を伝えていく ・小学校とのタイアップ(多世代交流イベントの実施)
○せつかくまだ残っている隣組の良い部分をうまく残していく	<ul style="list-style-type: none"> ・最近では冠婚葬祭のみの関係 ・クリーン作戦(年1回)は全戸参加→安否確認、多世代交流 ・隣組を活用して緩やかな見守りを実施したい ・回覧板や配布物は必ず声を掛ける
○みんなが大郷地区のことや活動に関心を持ち、地区の活動を理解し、積極的に参加する	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の茶の間 ・お弁当のお届け(給食サービス事業) ・安心箱支給事業 ・友愛訪問活動(安否確認) ・回覧板や配布物は必ず声をかける ・回覧板の工夫 ①デザイン ②キャッチフレーズ ③季節ごとの標(子どもたちから募集) ・お弁当やおせちの配食、友愛訪問の際に子どもたちからのメッセージを入たり、一緒に配る
2. 集まる場づくり～年代、目的に関わらない誰でもいつでも寄れる場所を目指して～ (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮せるまち・高齢者が安心して暮せるまち)	
○情報の宝庫である“地域生活センター”を拠点に情報や行事を発信し、各集会所へ広げていく	<ul style="list-style-type: none"> ・サークル活動や学童クラブ、健康体操(いきいき会)等でセンターを活用 ・健康寿命を延ばす ・地域の方々が集まる場づくり
3. 安心して暮らせる地域づくり (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮せるまち・高齢者が安心して暮せるまち)	
○災害時のしくみづくりを進める	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会を中心とした年1回の防災訓練を実施 ・災害時のマニュアルづくりや地域福祉マップづくり ・防犯対策の検討

27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	取組み内容
A	A	A	A	A		・通年、登下校時の児童、生徒と積極的に挨拶を交わしている。
A	A	A	A	A		・夜祭に園児、児童、生徒の発表をしてもらったり、各集落ごとの祭りにも参加してもらっている。 ・学校事業へ地域住民が参加し、交流を図っている。(カーリング、昔遊び等) ・小学校でのシニアクラブの実施。 ・PTAとのカーリング大会開催。
B	B	B	A	A		・年1回のクリーン作戦に全戸及び子ども会も参加している。 ・普段からお隣への声かけが行われている。 ・お祭りの前のお宮掃除にはたくさんの人が参加している。 ・公園の清掃(草取り)年2回実施。 ・乗り合いバス等の周知。 ・ゴミ出し支援の助成事業を周知活用。
B	B	A	A	A		・新規1か所茶の間が立ち上がった。全体で7か所 ・お弁当やおせち料理の配達時に地域の子供達からのメッセージや絵を添えて高齢者に配布している。 ・子供たちと一緒に配布している。 ・友愛訪問時ホッカイロを配布している。 ・回覧板での情報発信を続ける。
27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	取組み内容
B	B	B	A	A		・コミ協事業への参加者が多い。 ・下赤洪地区で年4回の集まる場づくりが定着化(赤洪会)。 ・下大郷1・2、瀬ヶ通、上大郷、中大郷、犬帰新田、郷の会で班会を実施。 ・下笠巻老人会で茶の間実施。
27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	取組み内容
C	C	C	B	A		・コミ協主催自主防災訓練実施。 ・子供むけ訓練を取り入れた。 ・新年度に向けて小学校との合同防災訓練を検討。

全員集合！鷺巻地区 ～笑顔の和を広げよう～

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組んだ内容等共有されていますか)	○
引継ぎをきちんとしよう (役員の交代等、計画について引継ぎがされていますか)	△
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられています)	×

*それぞれの項目ごとにチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標に対する評価	評価
期待される取組の90%以上達成	A
期待される取組の75%以上達成	B
期待される取組の50%以上達成	C
期待される取組の50%未満	D

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組み		27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	取組み内容
	実施している取組み	期待される取組み							
1. 集落に集いの場をつくる (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮せるまち・高齢者が安心して暮せるまち)									
○各集会所を拠点とする 体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> お茶の間の新規開設 (中鷺ノ木地区) 各集落にお茶の間をつくるにはリーダーが必要 中鷺ノ木の茶の間をモデル (リーダーや世話人のいない運営) 		A	A	A	A	A		・下鷺ノ木第二自治会地区において、高齢者を対象とした茶話会 (歌、踊り、昼食等) を開催し、10名程の参加があった。参加者からは「またやってほしい」という声があった。
○多世代交流の(機会) 場をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 大鷺夜まつり→新しい世代交流活動 →小・中学校との連携で祭りの内容が多彩 (桜町) 集会所を利用したサークル活動 (卓球・カラオケなど) 桜灯籠まつり (4月中旬/実行委員会方式) 植栽活動 (鷺巻地区保全会の立ち上げ) 交流の場をつくる→子供が集まる行事は他の世代も集まる 地域の環境整備活動で地域の繋がりが顔が見える (花植え、クリーン作戦) 		A	A	A	A	A		・灯籠まつりは今年も大勢の方が参加があった。来年は自治会からの協力を依頼したい。 ・植栽活動は保育園児との交流等も含めて取り組んでいる。現在は上鷺ノ木地区で開催しているため、他地区にも活動を広げていきたい。
○既存の事業の拡充 (お茶の間)	<ul style="list-style-type: none"> 下鷺ノ木、桜町、鷺巻いきいきサロンの開設 →参加者が減少 今あるお茶の間を継続していくことが大切 集会所を大いに活用し、集まることから始める 健康寿命を延ばす活動→病院の班会を利用する 		D	D	C	C	C		・地域の茶の間「はたちの会」は、中鷺ノ木自治会内でチラシの回覧を毎年行い、周知や参加の呼びかけを行っている。他の町内の参加も可能である。 ・【課題】鷺巻地区全体が協力して開催する (例：自治会が持ち回りで担当しセンターで開催する) 等、新たな取り組みを検討する必要がある。農村部であるため、開催場所までの移動手段も考慮する必要がある。
○ボランティアリーダー の育成を図る	<ul style="list-style-type: none"> リーダーを育てる仕組みが必要 →コミ協、行政、社協に期待 		D	C	C	C	D		・積極的に取り組めていない。
○老人クラブの活性化	<ul style="list-style-type: none"> 植栽活動を通して多世代交流をする 老人クラブと保全会との協働 		D	D	D	C	B		・現在地区内の老人クラブは2団体ある。中鷺ノ木地区は旅行、茶の間、フロアカーリング等の様々な活動に取り組んでいる。

明るく いきいき すこやか 根岸もん

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組んだ内容等共有されていますか)	△
引継ぎをきちんとしよう (役員の交代等、計画について引継ぎがされていますか)	○
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	△

*それぞれの項目ごとでチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標に対する評価	評価
期待される取組の90%以上達成	A
期待される取組の75%以上達成	B
期待される取組の50%以上達成	C
期待される取組の50%未満	D

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組み 期待される取組み
----------------------	-----------------------

1. お茶の間を全地域につくろう (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮らせるまち・高齢者が安心して暮らせるまち)	
○新規のお茶の間を立ち上げる	<ul style="list-style-type: none"> ・9か所のお茶の間、サロン活動 ・地区集会場を活用したサロンの立ち上げ
○既存のお茶の間事業の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・お茶の間交流会 ・子供、大人の垣根をなくした集まり ・ひまわりクラブと地域の高齢者の交流 ・案内チラシや回覧板の工夫 ・ネーミングの変更 ・子供たちのに昔遊びを教える
○隣近所との協力体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・あやめ祭りをはじめとした各種祭り ・伝統芸能 ・米づくり ・回覧板の見直し ・ちょっとしたおせっかいが大切 ・登下校時の見守り活動で声掛け ・ラジオ体操に多世代が参加
○趣味のサークル等をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・カーリング大会 ・ゲートボール大会 ・輪投げ大会など ・案内チラシや回覧板の工夫
○リーダーの育成を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・各種活動を通じ、リーダーの自然発生 ・役員の引継、途切れない仕組みの構築 ・役員改選時の勉強会実施や事業手順書の作成
○地域で要援護者が取り残されないような体制づくりをする	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の立ち上げ ・根岸地区図上訓練の実施 ・防災訓練 ・ちょっとしたおせっかいが大切

27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	取組み内容
C	C	C	C	B		<ul style="list-style-type: none"> ・北田中自治会で公民館を会場に月1回程度、交通安全や健康に関する講座を開催 ・映画鑑賞なども実施した13名程度
B	B	B	A	B		<ul style="list-style-type: none"> ・前年度と比較して活動の規模や内容について変わっていない。 ○地域交流→輪投げ大会(各地域より多数参加) ○地域の婦人会や老人会が定例の活動を実施 ○包括支援センターとの情報交換会を定期的に開催
B	B	B	B	B		<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学生や地域住民と協力した各種事業 ○桜ロードのウォーキング&ゴミ拾い ○あやめ祭り ○水路の魚調査 ○サツマイモ掘体験 ○ゴミ拾い活動 ・防犯、見守りを兼ねたウォーキング活動の実施 ・高齢者や体の不自由な人への手助け
A	A	A	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・ゲートボール、手芸サークル、カラオケ、ゴルフ、カーリングなどを実施している地域がある ・婦人グループが4つあり情報交換などを行っている
C	C	C	C	C		<ul style="list-style-type: none"> ・新しい役員の引継ぎを確実にし、新たな人材を育成している ・飲食の会を実施し、新たな人材を育成している
A	A	A	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・自治会三役で情報共有を図る ・要援護者の一人一人に自治会役員を担当者として割り当てている ・防災部を新たに立ち上げて体制づくりを行う ・要援護者に対し隣り3軒に緊急時の協力を依頼している

老いも若きもスクラム組んで、住んで楽しい大通

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組んだ内容等共有されていますか)	△
引継ぎをきちんとしよう (役員交代等、計画について引継ぎがされていますか)	△
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられています)	△

*それぞれの項目ごとにチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標に対する評価	評価
期待される取組の90%以上達成	A
期待される取組の75%以上達成	B
期待される取組の50%以上達成	C
期待される取組の50%未満	D

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組み 期待される取組み
1. みんなで参加・交流・理解 (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮らせるまち・高齢者が安心して暮らせるまち)	
○学校と地域との協力体制をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 学校の授業や行事に地域ボランティアが積極的に協力している。(老人会の出前授業他) 「大通小学校見守りたい」を結成(登下校の見守りマップを作成) 地域住民への活動の周知 周知活動の強化 子どもたちへ活動の意図を理解させる工夫が必要 見守りたいとセーフティスタッフを核とした見守り活動の充実
○各種団体等の協働を図る	<ul style="list-style-type: none"> 自治会、老人会、子ども会、PTA、セーフティスタッフ、民生児童委員、保健会、食生活改善推進委員、地域ボランティア、コミ協などの相互連携(防災訓練・大通地域合同リレー作戦など)(老人会の出前授業他) 社会福祉協議会との協働 多世代交流、子どもたちの見守り活動、PTA活動、老人会など、もっと情報発信、活を見える化し理解者を増やし連携を強化する。
○既存事業を拡充し多世代交流の機会をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 中学生と老人会共同ゴミ拾い 地域の茶の間、子育て講演会、大通夏祭り、大通レクリエーションフェスティバル(スポレク)、大通地区文化祭、ふれあい昼食会、敬老会等の開催 事業のPR、広報の仕方に工夫が必要 自治会単位でお茶の間をつくる(自治会の後押し必要) 元気な高齢者が集まれるサークルづくり 集会所の利用を増やす(地域に大いに使ってもらう) 地域住民の交流と健康づくり

27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	取組み内容
B	B	B	B	B		<ul style="list-style-type: none"> 学校コーディネーターの協力で、ボランティアが行事等に参加している。 「見守りたい」による登下校時の見守り活動の実施。
A	A	B	B	B		<ul style="list-style-type: none"> 包括と自治会、コミ協と連携し、徘徊者に対する見守り仕組みができた。(一部) セーフティスタッフは毎日活動している。新規2名のスタッフが増えた。 民生委員による「あいさつ運動」の実施 個々に活動しているが、横の繋がりが弱い。関係団体との情報共有が必要。
B	B	C	C	B		<ul style="list-style-type: none"> 自治会ごとに独自のイベントを開催している。 老人会と中学校の共同ゴミ拾いの仕組みが確立した。 各イベントは天候等に恵まれ、大いに盛り上がった。 お茶の間への新規加入活動が必要。

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組み 期待される取組み
2. みんなで作ろう安心安全 (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮らせるまち・高齢者が安心して暮らせるまち)	
○地域内でみんなの声かけ	<ul style="list-style-type: none"> コミ協だより、防犯だよりの発行 青色パトロール車による防犯活動の実施 夜間パトロールの実施 高齢者世帯の見守り支援 高齢者の見守り、支援体制づくりの充実 団体活動PR版など町内で保存版とする ウォーキングや犬の散歩を利用した見守り活動
○隣近所との協力体制をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練や日頃の連絡網を使用して協力体制の構築 老人会の友愛訪問活動 活動の資料を整理し、次の役員へ引き継いでいく体制づくり
○災害時に対する避難体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> 大通全地区の防災訓練実施 自治会独自の緊急連絡網の整備 自治会単位での避難訓練 平日の昼間を想定した避難訓練 災害時要配慮者への救援体制づくり

27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	取組み内容
B	B	C	C	B		<ul style="list-style-type: none"> 夜間青色パトロールを定期的実施している。 防犯だよりを発行し、地域で防犯に対する啓もうを図った。 高齢者の見守り体制づくりについては、自治会の協力が必須。 「思いやりネット」の充実を図るため、広報や口コミが必要
B	B	C	B	B		<ul style="list-style-type: none"> 災害時の要援護者に支援者が複数付いている。 防災訓練への参加者が減少。
D	D	C	B	B		<ul style="list-style-type: none"> 自治会単位での避難訓練は実施しているが、参加者が減少している。 連絡網はあるが固定電話の番号がほとんどで、携帯電話の番号にできるかが課題。 自治会ごとに防災会を作りたい。

みんなにやさしい シロネもん

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組んだ内容等共有されていますか)	○
引継ぎをきちんとしよう (役員の交代等、計画について引継ぎがされていますか)	○
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	○

*それぞれの項目ごとでチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標に対する評価	評価
期待される取り組みの90%以上達成	A
期待される取り組みの75%以上達成	B
期待される取り組みの50%以上達成	C
期待される取り組みに50%未満	D

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取り組み 期待される取り組み
1. 集まる場をつくらう (安心して子育てできるまち、障がいのある人もない人も安心して暮らせるまち、高齢者が安心して暮らせるまち)	
○お茶の間活動を充実させる	・お茶の間(ことぶき、能登栄町、東幸会、憩いの場、十五間、日の出町、からだ 楽らく会、みんなの茶の間、元気会、かけ橋、清楽苑、天昌堂、ゆかり) ・空き家活用できないか ・周知活動の強化
○気軽に誰もが集まれる場づくり を検討する	・商店街で定例会、公園の草取り(年3~4回)お祭り前に神社の草取り ・地域の人が集まるきっかけづくり ・町内会など小さな単位の集いの場づくり
○心配な人に対する訪問活動 を検討する	・民生委員の訪問活動、日の出町のネットワーク活動、自治会班長の声かけ (配布物届の際)、住民同士で気にかけている ・子ども会から行事など声かけ ・保健会と老人会がタイアップした活動
○地区のみんなが顔見知りになる ための活動を検討する	・花見、まつり、新年会、お茶の間等で交流 ・町内会総会を兼ねた懇談会 ・町内会での茶の間の立ち上げ ・町内で上記にあるようなイベント検討
2. みんなが地域の情報を知る (安心して子育てできるまち、障がいのある人もない人も安心して暮らせるまち、高齢者が安心して暮らせるまち)	
○地区活動のPR方法を各実施 主体が工夫する	・コミ協だよりの発行、ホームページ、ポスター、チラシ、回覧板 ・町内会の集まりで情報提供、学校だよりの回覧 ・配付物を目にとめてもらう工夫 ・団体活動PR版など町内で保存版とする
○お茶の間など集まる場を活用 し、地区の活動などを共有する	・茶の間や自然に集まる場があり地域情報を得ている ・情報を得る場としてお茶の間を広める ・茶の間等に参加できない人への対応
○災害など非常時のスムーズな 情報伝達体制をつくる	・災害時の援護体制確立 ・町内会で家族構成を把握し、いざという時の協力体制 ・防災訓練の実施と要援護者の確認 ・上記のような活動を広める
3. 町内会の活動を見直そう(私たちが支えあい、助けあうまち)	
○まつりに積極的に参加しても らうための働きかけをする	・まつりでよさこいできた ・まつりを継ぐ人の育成 ・魅力あるまつりを工夫(よさこいチームの結成)
4. 若い世代に「福祉」に参加してもらおう(私たちが支えあい、助けあうまち)	
○若い世代の自治会等の役員を ターゲットに小さなことでも関心 もってもらおう工夫を検討する	・南っ子ふゆまつり、ふれあい親子まつり ・親子会 ・子ども会と町内会がタイアップした事業 ・世代間交流事業(敬老会の工夫など)

27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	取組み内容
B	B	A	B	A		・茶の間が一か所増えた。増えたことにより周知されていると思う。 ・空き家の活用は難しい。(行政自体、調査のみで終わっている)
B	B	B	A	A		・南部地区では、今年度から月1回役員会を開催し、集まる機会が増えた。 また、役員以外の周り人も協力的で、プランタの花植えや草とり等いい雰囲気 で協力をしてくれていて、まとまりが出た。 ・各自治会では、夏休み等に、お楽しみ会等活発にしている。能登では、子 ども会と新蝶会(風の会)で大晦日の二年参り時に、他の団体の協力を得 て、そば、するめを振るまい、多くの子どもたちも参加し、交流をしている。
B	B	B	A	A		・民生委員訪問活動や日の出町のパトロールは継続して一生懸命取り組ん でいる。 課題:保健会は、なり手がいない。
B	B	B	A	A		・夏祭りでは、山車引きやお払いなど、一生懸命取り組み、交流を図ってい る。 ・茶の間が1か所増えたことで、交流の機会が増えている。 ・年1回の総会では必ず交流ができています。
27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	取組み内容
B	B	B	B	B		・様々な機会を捉えて、周知している。ただし、回覧板は時間を要するため、 必要に応じて世帯配布を検討する必要がある。 ・町内会によっては、町内会長と組長の間、班長を置き、負担軽減や住民 の協力を得る工夫をしている。 課題:1年交代自治会長の引継ぎ方法。自治会は自主防災を含めた地 域づくりの基礎となるので、選任方法も大切。小さな自治会は高齢化に より活動が難しくなるため、自治会の再編が必要である。
B	B	B	B	A		・町内の中で、高齢者が行き来してお茶のみをしている機会が残っている。 ・天昌堂に多くの参加者が集まっているようだ。 ・お茶の間が増えたことで情報交換の機会が増えた。
B	B	A	A	A		・防災訓練(3地区合同)を実施し、500人以上が集まった。 ・援護者に対してどう動くか、自治会(防災)組織が大切である。 ・課題はあるが、一生懸命に取り組んでいる。 ・白根高校ヤングボランティアも参加して一生懸命取り組んでいた。
27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	取組み内容
B	B	B	A	A		・北風まつり、しろねまつり、月見コンサート等、にぎわいを取り戻せるよう実 施している。 ・新蝶会は現在30代後半が中心となって担っている。今はいいが、これか ら後継者を育てる必要がある。 ・夏祭りには、山車を作って町内巡回。昨年度の反省で、他の町内まで拡大 したほうがいいので、子ども会に任せてほしいという声があった。 ・まつりを継ぐ人の育成が必要だが、みんな問題を抱えながら一生懸命取 組んでいる。
27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	取組み内容
B	B	B	A	A		・児童センターが主催でコンサート、まつり等を開催して交流を深めている。 ・子ども会と自治会がタイアップして行事に取り組んでいる。

なじらね ばかい〜ね いきいき ふれあい ささえあい 味方地区

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組んだ内容等共有されていますか)	○
引継ぎをきちんとしよう (役員の交代等、計画について引継ぎがされていますか)	○
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	○

*それぞれの項目ごとにチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標に対する評価	評価
期待される取組の90%以上達成	A
期待される取組の75%以上達成	B
期待される取組の50%以上達成	C
期待される取組の50%未満	D

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組 期待される取組
1. 閉じこもっている高齢者に外に出てもらおう (住みなれた南区で自分らしく暮らせる地域づくり)	
○地域ごとの茶の間を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー懇談会開催 ・趣味活動 ・お茶の間8カ所、子育てサロン1カ所開催
	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい取組など工夫が必要 ・次世代につなげる
○老人会の活動に積極的に参加する	<ul style="list-style-type: none"> ・輪投げ大会 (小学生も参加) ・ゲートボール、草取り ・楽友荘でお楽しみ会(会員以外も参加)
	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある老人会で、新規会員の加入を図る ・多世代交流の場づくり
2. 交流の場を広げ、みんなで参加しよう (住みなれた南区で自分らしく暮らせる地域づくり)	
○障がい児者との交流の場をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ友の会 ・身体障がい者の集まり、運動会 ・小中学校の総合的な学習時間
	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者、健常者、高齢者混じった交流 ・顔見知りになるゲーム、食事会など
○男性ボランティアの育成を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・各種活動への参加を促す ・具体的な役割を依頼 (防災等) ・核になる人の育成 ・電球の交換等、ちょこっとボランティア
○地区敬老会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・3地区ともに盛大、高齢者同士の交流の場
	<ul style="list-style-type: none"> ・新規会員の加入を図る ・敬老会を世代間交流の場として工夫

27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	取組み内容
B	B	A	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・お茶の間 (現9ヶ所) は継続して実施している。 ・子育てサロンは中止している。 ・参加者がなかなか集まらないところもあるが、声掛けにより参加の輪が広がっているところもある。
A	A	A	A	B		<ul style="list-style-type: none"> ・笹川邸の草取り、すす払い等のボランティア活動に意欲的に取り組んでいる。 ・輪投げ大会等の交流行事も継続実施している。 ・高齢化により外出できない方が増えている。新規会員加入に向けて他団体と共に会の在り方や活動を検討する必要がある。
B	A	A	A	B		<ul style="list-style-type: none"> ・味方小学校の福祉教育では車いす体験や障がい者との交流等に取り組んでいる。 ・障がいと区別せずに住民誰もが交流できるよう取り組んでいく必要がある。
B	B	B	B	B		<ul style="list-style-type: none"> ・配食サービスは継続して実施している。 ・一部地域では草取りやゴミ出し等の支え合いの活動を行っている。 ・地区として支え合いのしくみづくりについて取り組んでいく必要がある。
A	A	A	A	A		<ul style="list-style-type: none"> ・3地区で盛大に開催した。参加者も毎年楽しみにしており、当日も喜んでいる様子であった。

あいさつ 声かけ 思いやり つながいふっとつ 獅子の里

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組んだ内容等共有されていますか)	△
引継ぎをきちんとしよう (役員の交代等、計画について引継ぎがされていますか)	△
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	△

*それぞれの項目ごとにチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標に対する評価	評価
期待される取組の90%以上	A
期待される取組の75%以上	B
期待される取組の50%以上	C
期待される取組の50%未満	D

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組 期待される取組
1. 子どもを含めての世代間交流の活動をしよう (住み慣れた南区で自分らしく暮らせる地域づくり)	
○セーフティスタッフの活動を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> ・月潟・大別当で5~6人が活動 ・ながら見守りで良いので、地域全体の活動へ ・スクールバス降車後、自宅までの見守り ・スタッフ確保のためにも活動のPR
○地域の茶の間に子どもたちを招いて一緒に活動する	<ul style="list-style-type: none"> ・大別当、曲通、月潟の茶の間では、世代間交流の日を設けている ・保育園や学校に高齢者が行く ・茶の間の活動を積極的にPR ・健康センターを有効活用して、新しいイベントを実施
○ふれあいスクールを継続する	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいスクールの継続実施 ・保護者も運営スタッフとして参加 ・ボランティアの募集 ・老人クラブの協力
2. 地域の茶の間を各集落につくろう (住み慣れた南区で自分らしく暮らせる地域づくり)	
○今あるお茶の間以外にも、各集落に地域の茶の間をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の茶の間の実施 ・茶の間の活動を積極的にPR
○今あるお茶の間については、継続し充実していく	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の茶の間は継続実施 ・子育てサロン継続実施 ・魅力ある茶の間づくり
3. 地区の運動会を盛り上げよう (住み慣れた南区で自分らしく暮らせる地域づくり)	
○月潟地区全体が参加し、運動会を盛り上げ、住民同士がふれあい、交流を深める	<ul style="list-style-type: none"> ・全集落参加の運動会の継続実施 ・地区役員の負担の軽減 ・魅力ある内容
4. ボランティア・地区のリーダーを育成しよう (住み慣れた南区で自分らしく暮らせる地域づくり)	
○今ある組織・グループの活動を若い世代に継承する	<ul style="list-style-type: none"> ・南天の会、セーフティスタッフのメンバー募集 ・中学生の奉仕活動 ・仕事をしている人も参加できる工夫 ・世代間交流や茶の間の活動のなかで、ボランティアリーダーを育成
○活動を楽しく・満足感や達成感が持てるようにする	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体で研修会や懇親会の実施 ・活動のPR
○個人個人の意識がアップするような啓発事業を充実する	<ul style="list-style-type: none"> ・健康と福祉のつどいを開催 ・認知症の理解を深める活動を実施 ・啓発事業の充実

27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	取組み内容
C	C	C	C	C		・スタッフは現状維持でなかなか地域全体への活動にならない。
B	B	B	B	B		・保育園や学校とは地域教育コーディネーターの協力のもと交流を行っており、積極的に世代間交流を実施している。 ・茶の間によっては子どもがいない地域もあり世代間交流への取り組みが難しい。
B	B	B	B	D		・R1 (H31) 年度、ふれあいスクールが廃止された。
27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	取組み内容
B	B	B	B	B		・5茶の間に地区社協より運営支援を行っている。 ・毎月2日、7日の市日に「獅子の里」を開催しお昼の提供をしており、順調に活動を継続している。
B	B	B	B	B		・大別当や月潟の茶の間では世代間交流に取り組んでいる。 今後各茶の間で積極的に実施していきたいが、子どもがいない地域では難しい。
27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	取組み内容
A	A	A	D	D		・R1 (H31) 年度も運動会は実施出来なかった。運営が難しいと思われる。 ・再び運動会が復活できるよう、小学校の運動会に地域住民が参加する形式をとる等、実施方法や体制を検討していく。
27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	取組み内容
B	B	B	B	A		・中学生が地域の祭りや缶拾い等の奉仕活動に積極的に参加し、一生懸命取り組んでいる。
B	B	B	B	B		・南天の会や読み聞かせ、手品、民謡等各ボランティア団体が施設訪問等活発に活動している。
A	A	A	A	A		・健康と福祉のつどいを開催した。 ・獅子の里では健康塾が開催され、健康チェックや講座を行っている。